

例会報告

高山西ロータリークラブ



国分寺の紅葉 田中 晶洋

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋

<会長の時間>

現在は無くなってしまいましたが、「趣味の活動を通してクラブの連帯感を高める」という理念の下、クラブ委員会として「趣味の会」がありました。旅行やパソコン、囲碁・麻雀等の種類がありました。その中で私が加入したのが『詩吟』で、こちらは現在でも毎週金曜日にグリーンホテルにて練習を続けています。「趣味の会」が母体ですので 1 名の方の例外を除き他 8 名のメンバーが西 RC の会員もしくは元会員で、皆忙しい週末の夜ではありますが、出席率はクラブ例会よりも高い状況となっております。



私自身がクラブに入会したのは 50 歳の時で、仕事の上では最も慌ただしい頃でしたが、毎年新しい手帳を購入する度に、真っ先にロータリー例会の予定を記入して皆出席に努めました。先週 刈田 ガバナーがお越しになり、『最も出席するもの最も報いられる』を地区スローガンとする「日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議」についてお話しになりました。このスローガンを実現できるクラブであるため、皆様ご尽力の程お願い申し上げます。

<幹事報告>

<受贈誌>

R I 日本事務局 (財) 団室 NEWS 2016.11 月号 (財) 比国育英会 バギオ基金 (バギオだより Vol.57)、社団法人高山市文化協会 (広報高山の文化)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33 名	3 名	36 名	39 名	92.31%
本日	33 名	—	33 名	39 名	84.62%

<本日のプログラム> お祝い

◎ 会員誕生日 (当日欠席)

田中 晶洋 11. 6、住田 泰典 11. 19

◎ 夫人誕生日 (当日ご自宅に花束をお届け)

小森 丈一 映子 さん 11. 17
 折茂 謙一 佑子 さん 11. 3
 岡田 贊三 芳子 さん 11. 6
 田近 毅 薫 さん 11. 1
 伊藤 松寿 早苗 さん 11. 20
 阪下 六代 恵子 さん 11. 14
 鴻野 幸泰 尚美 さん 11. 28

◎ 結婚記念日 (写真左より)



後列

小森 丈一 S39.11.11、田中 武 S45.11.18、
 田中 正躬 S45.11.29、米澤 久二 S57.11.20、
 平 義孝 S35.11.3、萱垣 敬慈 H10.11.11、

前列

垣内 秀文 S60.11.4、松川 英明 H 元 11.18、
 下屋 勝比古 H 3.11.4、榎坂 純一 H23.11.13、
 向井 公規 H17.11.6

◎ 出席表彰

ナシ

◎ 在籍周年記念表彰

ナシ

◎ 3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・杉山 和宏 ・米澤 久二

会員スピーチ

下屋 勝比古

1. トレーナーになろうとしたきっかけから今日まで。

ボート競技に出会ったきっかけは、就職した病院の近くに国体用の施設が整備され、そこに実業団チー



ムができた際に、監督が選手ケアの場所を探していて線湯を連れて病院にきたところから始まっています。

ボート競技は 2000 メートルを後ろ向きにオールを操って進み 5-6 分で順位を競い合う競技です。コースは 6 レーンと練習レーン

例会報告

を含めた広大な水域が人用となります。世界各地のコースは山の中や運河、湖に作られていて、景色のいいコースがたくさんあります。

過去のオリンピックのコースで今も使われているコースは、ドイツのミュンヘンです。とても大きなスタンド、透き通る湧き水、綺麗な芝生…。最近のシドニー、アテネ、北京、共に大会をやる所ではない。アテネは2005に行きましたがすでに廃墟と化し、3年後は草が生えすぎて練習すらできなくなっていた。ロンドン五輪の会場は国技だけあってイートンカレッジの専用コースで景色も設備も大学の施設で開催されたコンパクトな五輪でした。すべての種目でメダルを取りました。

さて、東京五輪の会場については、環境は彩湖が一番でしょうが、「海の森」になるであろう。当初は1000億円かけて淡水にするはずだったが、今の話題になる前にすでに費用面で費用を削られて今に至っています。日本にはボートの文化は根付いていないので、仮設で十分という感覚もあります。

ボート選手は、高校からでも十分世界にいける競技です。リオの代表も、大学から始めて代表になった子がいますし、柔道初段を持ちながら3大会連続で出場した選手もいます。「前は何かやってたの？」が選手にあった際によく聞くことです。

柔道男子代表の井上康生監督は、成功した5つの要点をあげていました。これは会社経営やクラブの運営にも役立つものではないでしょうか？

- 1、意識：代表としての責任の自覚とやり遂げる覚悟
- 2、内容：きつくてつらいが、弱点を補い克服してすきを作らない。計画性
- 3、体力：相手に劣っている部分の克服、体力づくり。けがの対策
- 4、組織：ALL JAPANの体制。プロの集団としての人材配置と意識の統一
- 5、科学：映像やデータの活用

選手のためになることを選手のために働く。決して地位や名誉のためではないこと。目的に向かう勇気と決断。やり遂げて目標を達成する覚悟

2. 病院勤務で出会った、奉仕の理想

1984年から7年間病院勤務をしていましたが、そこでの出会いが大きく今の人生に影響を与えています。『自立のための分かち合い』がスローガンのアジア保険研修所所長川原啓美医師との出会いが全てです。ライオンズと、ロータリーの違いは人道支援か、教育と社会奉仕であるとするならば、まさに社会人1年目からそんな環境にいました。

川原先生は、キリスト者医科連盟の派遣でネパールのタンセンという地域で外科医として働いていた時、2人の患者から大きな転機を与えられアジア保険研修所を作るきっかけになりました。魚を与えれば飢えはしのげますが、捕り方を教えたなら自分で一生食うことができます。採る道具を手に入れたら、余った魚を売って生活を高めることができる。そんな意味で教育は大切であり、アジアの友人たちに研修をさせる施設で働いてきました。国際化の中で、日本独自の文化を発信していけるように働きをしていきます。

<ニコニコボックス>

●井辺 一章さん、堺 和信さん

- ・高山市制施行80周年記念式典に出席しました。我がクラブでは小森丈一さんが自治功労賞を、門前庄次郎さんが社会福祉功労賞で表彰されました。大変名誉な事でこれまでのご功績に敬意を表すると共に心からお慶び申し上げます。
- ・高山祭を含めた「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録される事が決まりました。先人やこれまで保存活動に努力された関係者に心から敬意を表すると共にお祝い申し上げます。

・本日の例会は会員スピーチです。下屋勝比古さんをお願いしております。時間はたっぷりありますので楽しい話をよろしく願います。

●狭土 貞吉さん

市制80周年での我がクラブ小森丈一さん、門前庄次郎さん、受賞おめでとうございます。

●小森 丈一さん

- ・11月1日市制80周年記念式典に於いて「自治功労章」なるものを頂きました。又表彰された116人と12団体の代表として謝辞を述べる大役を仰せつかい、恐縮致しました。
- ・米山奨学へのご寄付、10月が終わってもお忘れなき様に、10/14以降ご寄付がありません。よろしく願います。

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

本日、来年度の理事役員候補者名簿を発表させていただきました。12月の第一例会時の総会で承認して頂きますようよろしく願います。また候補者の皆様、ご尽力賜りますようお願いいたします。

●内田 幸洋さん、大村 貴之さん

塚本さんのコミュニティペーパーに載せてもらいました。ありがとうございました。

●折茂 謙一さん

11月3日、妻の誕生日にお花を有難うございました。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、遠藤 隆浩さん、大村 貴之さん、垣内 秀文さん、斎藤 章さん、下屋 勝比古さん、田中 武さん、田邊 淳さん、平 義孝さん、松川 英明さん

11月1日に高山市制80周年を迎えました。昭和11年(1936年)に高山市となり、歴史を重ね「観光都市 飛騨高山」として世界的にも注目される都市となりました。高山祭りの屋台行事もユネスコ無形文化遺産登録の見通しとなり、ますます観光として多くの観光客でにぎわう事を期待したいです。

座右の銘

田近 毅

『一笑一若 一怒一老』



人間の身体は六十兆個の細胞で出来ており、毎日約五千個の不具合な細胞(ガン細胞)が生まれていると言われている。それがガンです。

そのガンを人間の免疫力で退治してくれているのです。その退治してくれている細胞をNK細胞(ナチュラルキラー細胞)と言います。

なぜ、NK細胞があるのにガンに患えるのか。

それは、人間は加齢やストレスが溜まると、NK細胞の活性が落ちてきてガン細胞が発育してくるのです。

そこで免疫システムをアップするには、皆さんご存知でしょうか

- ①. ストレスを溜めない
- ②. 適当な運動をする
- ③. 規則正しい生活をする。
- ④. バランスの取れた食事を摂る。
- ⑤. 笑う。(心から笑うことが一番。作り笑いでも効果あると言われています。)

私はあと何年生きるかわかりませんが、一怒一老でなく、一笑一若で長生きしたいものです。

皆様、楽しいことがありましたら是非お誘い下さい。

又、楽しい例会、勉強になる例会、感動を覚える例会になるよう努力して頂きたいと思っております。